

自己に目覚める ～ 人格の実 ～

樋野 興夫

新渡戸稲造記念センター 長
順天堂大学 名誉教授

2021年3月21日(日曜日)の午後、定例の『東久留米がん哲学外来・カフェ』(東久留米市スペース105に於いて)に赴いた。個人面談も行き、大変貴重な充実した時であった。参加された方から、「樋野先生、今日も素晴らしい時間をありがとうございました。先生の言葉のパワーに元気をいっぱいいただき本当に感謝しております。一、ほっとけ気にするなで今日はぐっすり休みたいと思います。それからJeanさんの心温まるお菓子のプレゼントもありがとうございました。一、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。一、また来月お会い出来るのを楽しみに頑張っていきたいと思っております。」との心温まる、励ましのコメント頂いた。涙無くして語れない!「自己に目覚める」&「人格の実」ではなからうか! 思えば、「起こったことは仕方がないのだから、そのことを前提に最善を考えよう」の学びが、2008年1月順天堂大学で『がん哲学外来』を開設した原点でもある。そして、病院外での『東久留米がん哲学外来・カフェ』が、2008年10月に wife、スタッフの皆様と始まった。スタッフの皆様の熱意、真摯なる姿には、ただただ感謝である。

終了後は、同じ会場で、『読書会』であった。『東久留米がん哲学外来・カフェ』開始の前年2007年12月9日に、新渡戸稲造 著『武士道』、内村鑑三 著『代表的日本人』の『読書会』を始めた。今回は、『代表的日本人』(内村鑑三 著、鈴木範久 訳)(岩波文庫)の『西郷隆盛 ～ 新日本の創設者～』の「第2章: 誕生、教育、啓示」であった。「動作ののろい、おとなしい少年で、仲間の間では、まぬけで通っていました」、「『ウド』のニックネームを与えました」とある。私の故郷は鶴峠(ウド)である。不思議な縁である。「まっしぐらな前進あるのみ」、「穏やかな精神の持ち主」、「のろまで無口で無邪気」、「天を相手にせよ。人を相手にするな。」、「天はあらゆる人を同一に愛する」、「我を愛する心をもって人を愛すべし」などなどの「言葉の処方箋」に満ち溢れている。何回読んでも新鮮である。日々の生活、置かれた状況で、脳の引き出しに入れてある数々の「言葉」が蘇る。まさに、「言葉の処方箋」である。「良書を読み、有益な話を聞き、心の蔵を豊かにする」(新渡戸稲造)である。

『音楽の処方箋』のCDが送られて来た『(がん哲学外来映画制作委員会2018-Home | Facebook(樋野先生 監修CD「音楽の処方箋」は、ドキュメンタリー映画「がんと生きる 言葉の処方箋」サウンドトラック & コンセプト・アルバムです。no.16収録曲「ほっとけ 気にするな」歌: 田島玲子 作詞: 樋野興夫 作曲: 鈴木穂波...)』(添付)。昨年の『ほっとけ 気にするな』(作詞: 樋野興夫 作曲: 竹原泉)(添付)に続いてのCDである。大いに感動した。みなさまの愛情には、涙無くして語れない! まさに、新渡戸稲造の「Union is Power」(協調・協力こそが力なり)の実感である。この度、『[日めくり] 人生を変える 言葉の処方箋』(2019年 いのちのこば社)(添付)の英語版が予定されているとのことである。これも、「東久留米がん哲学外来 in メディカル・カフェ」の大きな貢献である。



「ほっとけ 気にするな」

作詞：樋野 興夫 作曲：

- 1) ほっとけ、ほっとけ 気にするな！
人生いばらの道 されど宴会
全力を尽くして 心の中でそっと心配する
にもかかわらず、笑う
相手を責めるより ユーモアで包む
八方塞がりでも 天は開いている
器を空っぽにすると 新しい水で満たされる
人生とは、心の持ち方
ほっとけ、ほっとけ 気にするな！
- 2) ほっとけ、ほっとけ 気にするな！
種を蒔く人になる
涙とともに種を蒔く人は 人生の意味を知る
馬から下りて 花を見る
一周遅れの先頭の責務
「解決」はできなくても「解消」はできる
人生に期待できなくなっても 人生から期待されている
病気は人生の夏休み
ほっとけ、ほっとけ 気にするな！
- 3) ほっとけ、ほっとけ 気にするな！
苦しみが品性を磨く
人生にはもしかするとこのときのため と思えることがある
あなたはそこにいるだけで価値がある存在
「余計なお節介」ではなく「偉大なるお節介」
視野の広さをもって 優雅にかつ力強く
範囲の広がるにしたがって ますます強度に
一貫した生き方
ほっとけ、ほっとけ 気にするな！

参照：『「日めくり」人生を変える言葉の処方箋』
(いのちのことば社)